
[成果情報名] 種間交雑等によるアジサイ新系統「福花13号」、「福花14号」および「福花15号」の育成

[要約] ヤマアジサイとハイドランジアの種間交雑により、花色が青色で多花性を示す「福花13号」を育成した。また額咲きのハイドランジア八重咲き品種と場内保有系統の交配により、装飾花が八重で手鞠咲きを示す、赤色の「福花14号」とピンク色の「福花15号」を育成した。

[キーワード] ヤマアジサイ、ハイドランジア、種間交雑、多花性、八重咲き

[担当部署] 花き部・花き育種チーム

[連絡先] 092-922-4958

[対象作目] 花き・花木 [専門項目] 育種 [成果分類] 品種育成

[背景・ねらい]

アジサイは、県内の主要な鉢物であるシクラメンとの組み合わせ品目として栽培されており、近年、大型花序を持つ既存品種に対し、多様な特徴を有する品種のニーズが高まっている。

そこで、種間交雑等により多花性および商品性の高い八重咲き品種を育成する。

[成果の内容・特徴]

1. 花色が青色で多花性の系統の育成を目的に、ヤマアジサイ「マイコアジサイ」を種子親、ハイドランジア「ブルーダイヤモンド」を花粉親として交雑を行い、「福花13号」を育成した。「福花13号」は花色が青色（JHSカラーチャート：明紫青）の手鞠咲きのアジサイで、花序数はハイドランジアの約2倍で、わい性の系統である（図1、表1）。
2. 八重・手鞠咲き系統の育成を目的に、ハイドランジア「ポージーブーケー・スージー」を種子親、場内保有系統「03JP1」（「城ヶ崎」と「パリ」の交配種）を花粉親とした交配を行い、「福花14号」を育成した。「福花14号」は花色が赤（明赤紫）の八重・手鞠咲きのアジサイで、開花初期の装飾花の中心部は白色であるが、満開期には着色する（図1、表2）。
3. 八重・手鞠咲き系統の育成を目的に、ハイドランジア「ポージーブーケー・グレイス」を種子親、場内保有系統「03JP1」を花粉親とした交配を行い、「福花15号」を育成した。「福花15号」は花色がピンク（鮮紫ピンク）の八重・手鞠咲きのアジサイで、満開期以後花色は緑色に変化する（図1、表2）。

[成果の活用面・留意点]

1. 本県オリジナルの鉢物品種として、品種登録を申請予定。

[具体的データ]

表1 ヤマアジサイとハイドランジアの種間雑種「福花13号」の開花期の形質（平成20年）

系統・品種名	樹高 cm	葉の大きさ		花序の大きさ		装飾花の 直径 cm	1株当たり の花序数	装飾花の色 (満開期)
		葉身長 cm	葉幅 cm	高さ cm	幅 cm			
福花13号	27.4	10.2	5.2	10.0	18.3	3.7	6.0	明紫青
ブルーフレッシュ	33.0	9.8	7.6	12.4	19.4	4.8	3.2	鮮紫青
t-test	※	ns	※	ns	ns	ns	※	

- 注) 1. 耕種概要 19年6月11日 挿し木、7月12日 9cm径黒ポリポット鉢上げ、8月16日 摘心、20年2月25日 12cm径プラスチック鉢定植、5月下旬開花
2. 装飾花の色 JHSカラーチャートによる
3. t-testにより、※は5%水準で有意差があることを示す

表2 八重咲き系統「福花14号」、「福花15号」の開花期の形質（平成20年）

系統・品種名	樹高 cm	葉の大きさ		花序の大きさ		装飾花 の直径 cm	1株当たり の花序数	装飾花の色 (満開期)
		葉身長 cm	葉幅 cm	高さ cm	幅 cm			
福花14号	39.1 a	10.0 b	6.1 b	12.0 b	20.4	4.8 b	3.3	明赤紫
福花15号	30.8 b	8.2 c	5.5 b	11.2 b	19.6	5.6 b	3.0	鮮紫ピンク
ミセスクミコ	37.0 ab	12.9 a	8.4 a	15.5 a	22.8	8.0 a	3.2	鮮紫ピンク

- 注) 1. 耕種概要および装飾花の色は表1に同じ
2. 同一列内の異なる英文字は、Tukeyの多重検定により5%水準で有意差があることを示す



「福花13号」



「福花14号」



「福花15号」

図1 育成した3系統の開花期の草姿（平成20年）

[その他]

研究課題名：種間交雑等によるアジサイの品種育成

予算区分：経常

研究期間：平成19年度（平成16～21年）

研究担当者：巢山拓郎、谷川孝弘、山田明日香

発表論文等：巢山ら（2008）、園芸学研究7別2：293

